



## アクションプログラム②

# “自立への挑戦”はいま！

なんごく・こうち地方拠点都市は、平成五年二月に地域指定を受け、同年三月二十五日、全国に先きがけて、基本計画が衆議院承認されました。南国市など十カ市町村が共同して作成した、個々が光り、全体が輝く、計画とは……。

今回は、「基本計画のあらまし」をご紹介します。

## 個々が光り、全体が輝く

### 十市町村が役割分担

#### 基本計画のあらまし

▲基本計画は、どのようにして作られましたか、

行政（市町村役場）だけでなく議会や一般住民の代表の人にも参加してもらって、基本構想の素案を作りました。

そして、公開シンポジウムなどを開いて、それぞれの市町村の特性と役割、重点的に整備すべき事業をしぼり込んでいったわけです。

#### 若者定住の「核」づくり

▲十カ市町村が住民の参加で、共同して作ったわけですね。

地方拠点都市地域は、南国市と高知市を中心都市としてその周辺の香美郡の町村（土佐山田町・香北町・物部村・野市町・吉川村・赤岡町・香我美町・夜須町）の十カ市町村で構成されています。途中で高知市の追加加入もありましたが、事業の取り合いといったこともなく、十カ市町村がそれぞれの地域の特性を認め合いながら全体として発展しようという視点で決め

られました。

▲基本計画の基本理念については……

高知県は毎年、人口が減少して高齢化が進んでいます。そこで、若者が定着できる自立的な県土づくりが最大の課題となっています。このような背景から、県勢をリードする都市機能が集まっている高知市と陸・海・空の高速交通の拠点性と潜在的な力を持っている両国市を中心として、

香美郡の町村が一体となって高知県の自立的な成長を引っ張っていく、そして県内の若者定住の「核」となる拠点都市を作ろうというのが狙いです。

▲整備の基本的な方向としては、どのように考えているのですか。

まず、高知市は中核都市として次元の高い都市的な機能や居住環境を整える。南国市は第二の中心都市として産業業務施設を重点的に整え、共に中心市街地を整備する。

土佐山田町・野市町・香我美町・赤岡町は工業団地の重点的な開発や住宅団地など定住環境の整備、学術・文化・スポーツ・レクリエーション機能を整えます。また、夜須町、吉川村・香北町・物部村では海・山・川などの恵まれた自然環境を生かしたレクリエーションゾーンを整えます。

▲それぞれの市町村の特性を生かして、役割り分担をしながら、個々が光り、全体が輝く、というわけ……

海のみならず山らしく、山のみならず海らしく、核なるまちは核らしく、個性がキラキラしながらネットワークされた拠点都市。その中で重点的に整備していく、拠点地区を七カ所作っています。

#### アルカディアなど

##### 七つの拠点地区

▲南国市は、目玉事業である産業業務拠点地区のまほろばの里・アルカディア

（南国オフィスパーク）ですね。そのほか、六カ所の拠点地区は、どうなっていますか。

高知市の高知駅周辺の再開発、鉄道の高架化、南国市の後免町再開発などと吾国山文化の森公園、土佐山田町の北シテイ区画整理や住宅団地、夜須町手結のマリンタウン整備、香北町のセレネを中心としたヘルシー&カルチャー整備、物部村の奥物部湖の自然を活用した山岳型レクリエーションゾーンです。

▲そのほか、全体として「職・住・遊・学」の整備を総合的にするわけですね。

下水道や河川、道路などの生活基盤、高知空港や高知新港、高速道や阿佐線などの交通ネットワーク整備など、約百四十事業を計画しています。また、ソフト事業として情報通信システムや人材育成、地域間交流、教養文化活動についても計画されています。（次回からは、南国市の事業を順次、ご紹介します）

## なんごく・こうち地方拠点都市



イラストは高知駅周辺再開発